



[伝統と進取の気風の地]
烏丸通の商いと賑わい

歴 2-25 (R03)

大正15年、新風館の前身となる旧京都中央電話局が、近代モダニズムの先駆者である通信省技師・吉田鉄郎の設計により、竣工されました。

平成13年、旧電話局の外観をそのままに、英国の著名な建築家リチャード・ロジャースが意匠を手がけ、増築した際に「新風館」と名付けられました。複合施設として地域に開かれ、多くの人に親しまれました。

平成26年に再開発のため一時閉館しましたが、令和2年、新風館のコンセプトである「伝統と革新の融合」のもと、建築家・隈研吾の監修により新旧を融合させるかたちでリニューアルオープンしました。

烏丸通から東洞院通まで貫通するパッサージュ、京都の山間部の植栽を自然に近い状態で再現した中庭など、街中であっても京都の豊かな自然と歴史を感じることできる構成となっています。

烏丸通に面してアーチ状の窓が並べられた外壁は、旧電話局当時の外観を損ねることなく現代の技術で復元しています。

毎年、祇園祭の時期になると、新風館周辺は華やぎ、賑わいをみせます。



改装後中庭



改装後内観

新風館

ShinPuhKan

〒604-8172 京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町586-2

電話番号 075-585-6611

アクセス 地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」南改札直結

ホームページ <https://shinpuhkan.jp/>